

2020年4月6日

一般財団法人日本トレイルランニング協会

Trail&Mountain Running Championships 2021 日本代表選手選考要項

1. 編成方針

2021年の世界選手権は、日本陸上競技界及びトレイルランニング界にとってターニングポイントとなる競技会であり、トレイルランニングに携わる人々の期待を背にチーム JAPAN が最大限の力を発揮できることが重要である。この点を踏まえ、より多くのメダル（3位以内）や入賞を獲得できることを目標とし、この目標を達成するために、メダル獲得及び入賞を目指す競技者を一人でも多く派遣することを目的として選手団を編成する。

2. 開催地

一般財団法人日本トレイルランニング協会（以下「トレラン JAPAN」と称する）が指定する日本国内の各選考競技会

3. 選考期間

2020年5月23日～12月13日

4. 開催種目

（カッコ内は2021年に予定されるコース設定）

- 1) クラシックマウンテンレース（12キロ 獲得標高 300～400m）
- 2) パーチカルマウンテンレース（4～7キロ 獲得標高 700～1000m）
- 3) ショートトレイル（40キロ 獲得標高 2000～3000m）
- 4) ロングトレイル（80キロ 獲得標高 3500～6000m）

5. 主なスケジュール

2020年

4月6日（月）世界選手権選考要綱発表

4月10日（金）競技者登録開始

6月15日（月）開催地発表 ワールドアスレティクス（以下「WA」と称する）による

2021年

1月18日（月）

日本代表内定選手発表

世界選手権への参加資格のある競技者の公表。選考対象は下記から選出する。

- ・選考競技会での上位入賞者
- ・WMRA ワールドランキングによる有資格者
- ・ITRA パフォーマンスインデックスによる有資格者及び高ポイント者
- ・国外の競技会で活躍し2021年大会で活躍が期待されると評価された競技者

3月1日（月）

日本代表選手最終発表

競技者の内定後に世界選手権への参加意思確認をした上で最終決定をおこなう。

※以降、トレラン JAPAN による追加の可能性あり。

6. 選考競技会（予定）

1) クラシックマウンテンレース

富士山麓トレイルラン（2020/10 山梨）

日光国立公園マウンテンラン（2020/11 栃木）

2) パーチカルマウンテンレース

尾瀬岩鞍バーティカルキロメーター（2020/10 群馬）

3) ショートトレイル

FAIRY TRAIL びわ湖高島トレイルランニング in くつき（2020/ 6 滋賀）

霧島えびの高原エクストリームトレイル（2020/7 宮崎）

斑尾高原トレイルランニングレース（2020/10 長野）

4) ロングトレイル

比叡山国際トレイルラン（2020/5 滋賀）

FORESTRAIL SHINJO-HIRUZEN（2020/7 岡山）

日本山岳耐久レース（2020/10 東京）

IZU TRAIL Journey（2020/12 静岡）

5) 指定国内選考競技会以外からの選出

なお国内選考は WA が定める競技規則に則り公正かつ安全な条件の下で競え合えるものであるとトレラン JAPAN が認めた競技会で行なうものとする。ただし競技の性質上やむを得ないと認められた場合は、当該競技会の規則を適用することがある。

※1) シニアクラスの男女を選考し、ジュニアクラスでの選考は実施しない

※1)～4)は男子及び女子をそれぞれ選考する

7. 選考基準

下記の各競技における各条件中の成績のみ考慮する。種目ごとの選考条件を下記の通り定める。

①競技会からの選出

1) クラシックマウンテンランニング

3) ショートトレイル

4) ロングトレイル

国内選考競技会において、各競技会における日本人最上位の男女競技者。

2) パーチカルマウンテンランニング

国内選考競技会において、日本人上位の男女競技者。

②5) 選考競技以外からの選出

ITRA、WMRA などが行なう国外の競技会で優秀な成績を残し、2021 年大会で活躍が期待されると評価された競技者で、全選考競技会の終了までの 1) については世界マウンテンランニング協会が発表する、マウンテンランニング世界ランキングの男女とも 30 位もしくはアジアランク 8 位以内を満たした競技者、3) と 4) については ITRA の Performance Index の参加種目におけるカテゴリでエリート 3 以上となる条件を満たした競技者。

8. 選考方法

故障等により、選考競技会本番で競技力を発揮できないと判断された場合を除き、上記選考基

準に従い選ばれた者の中から編成方針と派遣人数に基づき下記の方法で選考する。

(1) 選考基準による対象競技者の中にあつて、参加種目に最も近いカテゴリーにおける ITRA の定めるパフォーマンスインデックス (Performance Index) のより上位の者を優先する。

(2) ただし 2) バーチャルマウンテンランニングについてはこの限りではない。

これらの成績をもとに選考委員会が選考原案を作成し、トレラン JAPAN 理事会及び公益財団法人日本陸上競技連盟が承認することにより決定する。

9. 補足

(1) 本選考要項は、世界選手権大会の参加資格などが WA から正式に発表された後に、選考委員会で作成した選考要項案に派遣人数を加えるなどした上で、トレラン JAPAN 理事会の承認をもって最終決定とする。

(2) 代表選手の正式決定は、派遣団体である公益財団法人日本陸上競技連盟（以下、日本陸連と称する）により決定される。

(3) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則って選考されるが、その派遣人数は WA が定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。

(4) 世界選手権に於いて競技者は 1 種目のみに出場することができる。

(5) 代表選考の対象となる選手は、選考競技会に参加するまでにトレラン JAPAN の 2020 年度登録競技者であること。また世界選手権の参加にあたっては、2021 年度の日本陸連及びトレラン JAPAN の両方の登録競技者であること。

(6) 代表選手は日本陸連及びトレラン JAPAN が定める義務を遵守するものとする。

(7) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。

- ・アンチ・ドーピング規則に反した場合
- ・故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
- ・日本陸連及びトレラン JAPAN が定める義務を遵守しない場合

(8) 代表選手は、選考後の大会出場状況を報告すると共に、日本陸連及びトレラン JAPAN がメディカルチェックの必要があると判断した場合は、応じる義務を負うものとする。

(9) 日本陸連及びトレラン JAPAN が指定する公式行事の参加義務を負うものとする。

(10) 天災、その他の理由で選考競技会が中止になった場合は、代替の選考競技会を設定する場合がある。

(11) 選考要項の正式発表後、参加を希望する対象競技会への参加登録（エントリー）が既に締め切られていた場合、競技者は別に定める方法によりトレラン JAPAN に対して「競技会参加申請書」を提出することが出来る。これを審査の上、参加が相応しいと認められた場合、トレラン JAPAN は参加推薦を主催者に対しておこなう。但しこれは競技会への参加を認めるものではなく、参加の可否については、主催者の判断に基づいて主催者の責任で決定する。

(12) 世界選手権大会は、2020 年 6 月 15 日(月)に開催地および開催日程が決定される予定。

(13) トレラン JAPAN は日本陸連のテクニカルパートナーとなり、互いに協力してトレイルランニング及びマウンテンランニングの発展とこのスポーツへの関心を高めていくことを目標とする。

以上